

# 技術・家庭 (家庭分野)

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	家庭 701	A B 306	令和2年
6	教育図書	教 図◆	家庭 702	A 4 変型 308	
9	開隆堂出版	開隆堂◆	家庭 703	A B 302	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
3冊	東書、教図、開隆堂

## 2 学習指導要領における教科・分野の目標等

### 【技術・家庭科の目標】

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

### 【家庭分野の目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

### 【参考 学習指導要領解説 技術・家庭編「第1章 総説 2 技術・家庭科改訂の趣旨及び要点」から（抜粋）】

#### (1) 改訂の趣旨

中央教育審議会答申において、学習指導要領等改訂の基本的な方向性が示されるとともに、各教科等における改訂の具体的な方向性も示されている。今回の中学校技術・家庭科の改訂は、これらを踏まえて行われたものである。

答申の中で、中学校技術・家庭科の内容の見直しについては、次のように示されている。

#### ア 平成20年改訂の学習指導要領の成果と課題を踏まえた家庭科、技術・家庭科の目標の在り方

家庭科、技術・家庭科家庭分野においては、普段の生活や社会に出て役立つ、将来生きていく上で重要であるなど、児童生徒の学習への関心や有用感が高いなどの成果が見られる。一方、家庭生活や社会環境の変化によって家庭や地域の教育機能の低下等も指摘される中、家族の一員として協力することへの関心が低いこと、家族や地域の人々と関わること、家庭での実践や社会に参画することが十分ではないことなどに課題が見られる。また、家族・家庭生活の多様化や消費生活の変化等に加えて、グローバル化や少子高齢社会の進展、持続可能な社会の構築等、今後の社会の急激な変化に主体的に対応することが求められる。

目標とする資質・能力については、実践的・体験的な活動を通して、家族・家庭、衣食住、消

費や環境等についての科学的な理解を図り、それらに係る技能を身に付けるとともに、生活の中から問題を見いだして課題を設定しそれを解決する力や、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする態度等を育成することを基本的な考え方とする。

## イ 具体的な改善事項

### (7) 指導内容の示し方の改善

家庭科、技術・家庭科家庭分野については、次の3点から示し方を改善することが求められる。

第一には、小・中・高等学校の内容の系統性の明確化である。児童生徒の発達を踏まえ、小・中・高等学校の各内容の接続が見えるように、小・中学校においては、「家族・家庭生活」、「衣食住の生活」、「消費生活と環境」に関する三つの枠組みに整理することが適当である。

また、この枠組みは、「生活の営みに係る見方・考え方」も踏まえたものである。

第二には、空間軸と時間軸という二つの視点からの学校段階に応じた学習対象の明確化である。空間軸の視点では、家庭、地域、社会という空間的な広がりから、時間軸の視点では、これまでの生活、現在の生活、これからの生活、生涯を見通した生活という時間的な広がりから学習対象を捉えて指導内容を整理することが適当である。

第三には、学習過程を踏まえた改善である。生活の中から問題を見だし、課題を設定し、解決方法を検討し、計画、実践、評価・改善するという一連の学習過程を重視し、この過程を踏まえて基礎的な知識・技能の習得に係る内容や、それらを活用して思考力・判断力・表現力等の育成に係る内容について整理することが適当である。

### (4) 教育内容の見直し

#### (家庭分野)

「家族・家庭生活」、「衣食住の生活」、「消費生活・環境」に関する三つの内容で構成する。家庭の機能を理解し、家族や地域の人々と協働することや、幼児触れ合い体験、高齢者との交流等、人とよりよく関わる力を育成するための学習活動、食育を一層推進するための中学生の栄養と献立、調理や食文化などに関する学習活動を充実する。また、金銭の管理に関する内容や、消費生活や環境に配慮したライフスタイルの確立の基礎となる内容を充実するとともに、他の内容との関連を図り、実践的な学習活動を一層充実する。さらに、主として衣食住の生活において、日本の生活文化を継承する学習活動を充実する。

学習した知識・技能を実生活で活用するために、家庭や地域社会と連携を図った「生活の課題と実践」に関する内容を充実する。

## 3 教科書の調査研究

### (1) 内容

#### ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠（目標等）	数値データの単位
a 内容区分の量	教科の内容	ページ、%
b 実践的・体験的な活動を取り上げている箇所数	教科の内容	箇所
c 「生活の課題と実践」に関する内容のページ数	教科の内容	ページ
d キャリア教育に関する内容を取り上げている箇所数	教科の内容	箇所

e 安全・衛生に関する内容を取り上げている箇所数	教科の内容	箇所
f 持続可能な社会に関する内容を取り上げている単元数	教科の内容	個
g 発展的な内容を取り上げている箇所数	学習指導要領 総則	箇所

## イ 調査項目の具体的な内容（調査結果は「別紙2」）

### ① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b、e、f、g との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 内容区分ごとの題材名・小題材名（別紙2-1）
- b 学習内容ごとの実践的・体験的な活動の内容（別紙2-2）
- e 安全・衛生に関する内容を取り上げている箇所（別紙2-3）
- f 持続可能な社会に関する内容を取り上げている単元名（別紙2-3）
- g 発展的な内容を取り上げている箇所（別紙2-3）

<その他>

- \*1 防災や自然災害の扱い（別紙2-4）
- \*2 持続可能な社会づくりの扱い（別紙2-5）
- \*3 性差と家族についての扱い（別紙2-6）
- \*4 オリンピック・パラリンピックの扱い（別紙2-7）

### ② 調査対象事項を設定した理由

家庭分野の学習のねらいは、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することである。

- ・ a の項目については、改定後「A 家族・家庭生活」、「B 衣食住の生活」、「C 消費生活・環境」の三つの内容とし、小学校・中学校ともに系統性の明確化が図られたため、内容区分の量（ページ数）を調査することとした。
- ・ b の項目については、家庭分野の目標に「衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を」育成するとあることから、学習内容ごとの実践的・体験的な活動の内容を調査することとした。
- ・ c の項目については、上記「改訂の趣旨及び要点」に、「学習した知識・技能を実生活で活用するために、家庭や地域社会と連携を図った『生活の課題と実践』に関する内容を充実する。」とあることから、「生活の課題と実践」に関する内容を扱っている量（ページ数）を調査することとした。
- ・ d の項目については、学習指導要領解説に「保育士や栄養士など、学習内容に係る職業に携わる人材を活用し、話を聞くなどの活動を通して、職業観や勤労観を育成することにも配慮することが大切である。」とあることを踏まえ、キャリア教育に関する内容として様々な職業に就いている人からの言葉等を扱っている箇所を調査することとした。
- ・ e の項目については、製作、育成、調理等の実習の指導において、機具類、刃物類、引火性液体、電気、ガス、火気などを取り扱うため、安全の保持に十分に留意して学習指導を行う必要があるため、安全・衛生に関する内容を取り上げている箇所を調査することとした。
- ・ f の項目については、技術・家庭科の目標に「よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。」とあることを踏まえ、持続可能な社会に関する内容を取り上げている単元について調査することとした。
- ・ g の項目については、学習指導要領第1章総則「第2 教育課程の編成 3 教育課程の編成における共通事項 (1) 内容等の取扱い イ」に「学校において特に必要がある場合には、第2章以下に示していない内容を加えて指導することができる。」と示され、また、(3)「指導計画の作成等に当たっての配慮事項 イ」に「各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、

発展的な指導ができるようにすること。」と示されていることを踏まえ、発展的な内容の扱いの有無及び取り上げている内容について調査することとした。

- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。（＊１）
- ・ 生徒には、豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となることが期待される。学習指導要領に基づき、正しい理解ができるように、持続可能な社会づくりの扱いについて、調査する。（＊２）
- ・ 性差と家族に関する表現については、東京都教育委員会教育目標の基本方針１に基づき、男女共同参画社会を目指すものの、男女の性差まで否定するものではないとの観点から、性差等に関する表現について、記述の内容を調査するとともに、「東京都男女平等参画基本条例」に基づき、適正な男女平等教育を推進するという視点から、男女が家庭生活における活動に対等な立場で参画する観点や家庭観について取り上げられている内容について調査する。（＊３）
- ・ 東京都教育委員会教育目標の基本方針２・３に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。（＊４）

### ③ 調査研究の方法

- a 内容区分については、学習内容ごとに例示された題材名・小題材名及びページ数を整理する。関連する学習内容を組み合わせて構成されたものについては、主となる内容を選択する。
- b 「調理」、「被服」、「幼児や高齢者との関わり」に関する実践的・体験的な活動の内容を整理する。
- e 安全・衛生に関する記述のある箇所について、その内容を整理する。
- f 持続可能な社会に関する内容を取り上げている単元名と掲載ページを整理する。
- g 発展的な内容については、義務教育諸学校教科用図書検定基準第２章２(16)に基づき、発展的な学習内容以外のものと区別して、発展的な学習内容であることが明示されているものを整理する。

#### <その他>

- \* 1 防災や自然災害について取り上げている項目及び記述の概要を調査する。
- \* 2 持続可能な社会づくりについて取り上げている項目及び記述の概要を調査する。
- \* 3 性差と家族について取り上げている項目及び記述の概要について調査する。
- \* 4 オリンピック・パラリンピックについて取り上げている項目及び記述の概要について調査する。

### (2) 構成上の工夫（調査結果は「別紙３」）

以下の観点により、箇条書きで記述する。

- ア 生徒の学習意欲を高めるための工夫
- イ 実習を分かりやすく示すための工夫
- ウ 職業観・勤労観に関連する内容の取り上げ方の工夫
- エ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫（共通項目）
- オ デジタルコンテンツの扱い（共通項目）
- カ ユニバーサルデザインの視点（共通項目）

「別紙1」【(1)内容ア 調査研究の総括表】(中学校 技術・家庭 家庭分野)

項目	a 内容区分の量(ページ数)			b 実践的・体験的な活動を取り上げている箇所数			c 「生活の課題と実践」に関する内容のページ数	d キャリア教育に関する内容を取り上げている箇所数	e 安全・衛生に関する内容を取り上げている箇所数	f 持続可能な社会に関する内容を取り上げている単元数	g 発展的な内容を取り上げている箇所数		
	A 「家族・家庭生活」	B 「衣食住の生活」	C 「消費生活・環境」	計	① 調理に関する事項	② 被服に関する事項						③ 幼児や高齢者との関わりに関する事項	
発行者													
東書	57 22.9%	164 65.9%	28 11.2%	249 100.0%	52	22	4	78	11	18	14	6	9
教図	58 21.3%	169 62.1%	45 16.5%	272 100.0%	54	7	3	64	10	14	31	3	7
開隆堂	56 22.0%	158 62.2%	40 15.7%	254 100.0%	44	10	4	58	12	16	31	5	9
平均値	57.0	163.7	37.7	258.3	50.0	13.0	3.7	66.7	11.0	16.0	25.3	4.7	8.3

表中の「平均値」は小数以下第2位を四捨五入した。

a 内容区分ごとのページ数及び割合を示している。

b 学習内容ごとの実践的・体験的な活動を数えたものである。

①調理に関する事項…調理実習の題材を数えたものである。

②被服に関する事項…被服実習の題材を数えたものである。

③幼児や高齢者との関わりに関する事項…幼児や高齢者と直接接する体験について記載されている箇所を数えたものである。(事前、事後の指導、注意事項等は含めない。)

c 「生活の課題と実践」を取り上げているページ数を数えたものである。

d 様々な職業に就いている人からの言葉等をコラムなどで取り上げている箇所数を数えたものである。

e 「プロに聞く!」、「メッセージ」、「センパイに聞こう!」、「先輩からのエール」を数えたものである。

f 安全・衛生のマークが付している箇所を数えたものである。

g 持続可能な社会に関する内容を取り上げている単元を数えたものである。

「発展」のマークが付している箇所を数えたものである。

○は、b 実践的・体験的な活動を取り上げている題材名

a 内容区分ごとの題材名・小題材名			
A 「家族・家庭生活」	B 「衣食住の生活」	C 「消費生活・環境」	ページ数
とも生きる	自ら生活をつくる	生活者として意思決定する	2
5編 私たちの成長と家族・地域	1編 私たちの食生活	4編 私たちの消費生活と環境	2
1章 家族・家庭と地域	1章 食事の役割と中学生の栄養の特徴	1章 私たちの消費生活	2
① 私たちの生活と家族・家庭の機能○	① どうして食事をするのだろうか	① 消費者としての自覚	2
② 中学生としての自立○	② 私たちの食生活	② 購入方法と支払い方法	2
③ 家庭生活と地域との関わり○	③ 栄養素ってなんだろう	③ バランス良く計画的な金銭の管理○	2
2章 幼児の生活と家族	④ 中学生に必要な栄養	④ 消費者トラブルとその対策○	4
① 幼児頃の振り返り○	2章 中学生に必要な栄養を満たす食事	⑤ 何を考えれば済みますか～意思決定のプロセス～○	4
② 幼児の体の発達	① 食品に含まれる栄養素○	2章 責任ある消費者になるために	2
③ 幼児の心の発達○	② 何をどれくらい食べればよいか	① 消費者としてできること～権利と責任～○	8
④ 幼児の1日の生活○	③ バランスの良い献立作り○	② 省エネルギーと持続可能な社会	4
⑤ 支えられて身に付ける生活習慣	3章 調理のための食品の選択と購入	③ 持続可能な消費生活を目指して学習のまとめ	2
⑥ 幼児の生活と遊び○	① 食品の選択と購入○		2
⑦ 幼児との関わり方の工夫○	② 生鮮食品の特徴		2
⑧ 幼児との関わり方を生活に生かす○	③ 加工食品の特徴○		2
⑨ 子どもにとつての家族○	④ 食品の保存と食中毒の防止		2
3章 これからの家族と地域	4章 日常食の調理と地域の食文化		12
① 家族との関わり○	① 日常食の調理○		6
② 家族や地域の高齢者との関わり○	② 野菜・いもの調理		8
③ 地域での協働を目指して○	③ 肉の調理○		8
学習のまとめ	④ 魚の調理○		2
自分らしく生きる	⑤ エコクッキングに挑戦しよう		1
	⑥ 朝食作りに挑戦しよう		1
	⑦ 弁当作りに挑戦しよう		6
	⑧ 日本の食文化と和食の調理○		4
	⑨ 持続可能な食生活をj目指して○		2
	学習のまとめ		4
	食品成分表		4

○は、b 実践的・体験的な活動を取り上げている題材名

a 内容区分ごとの題材名・小題材名			
A 「家族・家庭生活」	ページ数	B 「衣食住の生活」	ページ数
			C 「消費生活・環境」
			ページ数
		<p>2編 私たちの衣生活</p> <p>1章 衣服の選択と手入れ</p> <p>①どうして衣服を着るのだろうか○</p> <p>②私らしさとT.P.O～着方の工夫～○</p> <p>③日本の衣文化○</p> <p>④衣服計画と必要な衣服の選択○</p> <p>⑤衣服の手入れ○</p> <p>2章 生活を豊かにするために</p> <p>①作って楽しい布作品○</p> <p>②持続可能な衣生活を指して学習のまとめ</p> <p>3編 私たちの住生活</p> <p>1章 住まいの役割と安全な住まい方</p> <p>①もしも住まいがなかったら○</p> <p>②住まいと気候風土の関わり</p> <p>③健康で快適な室内環境○</p> <p>④家族の住まいを安全・安心に○</p> <p>⑤災害への対策○</p> <p>⑥持続可能な住生活を指して○学習のまとめ</p>	<p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>4</p> <p>6</p> <p>10</p> <p>22</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>2</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>2</p> <p>2</p>

○は、b 実践的・体験的な活動を取り上げている題材名

a 内容区分ごとの題材名・小題材名			
A	B	C	
「家族・家庭生活」	「衣食住の生活」	「消費生活・環境」	ページ数
1 章 家族・家庭や地域とのかかわり	1 章 健康と食生活	1 章 私たちの消費生活	2
1 家族の一員としてできることを考えよう○	1 食事の役割を考えよう	1 買い物ふり返ってみよう○	2
2 家族関係をよりよくする方法を考えよう	2 健康によい食習慣について考えよう○	2 買い物の法律的な意味を考えよう	4
3 家庭生活と地域のかかわりを知ろう	2 章 何をどれだけ食べたらよいか	3 いろいろな販売方法や支払い方法を知ろう	4
4 地域の人々と、協力・協働しよう○	1 栄養素の種類と働きを知ろう	4 消費者トラブルを防ごう○	6
章末のまとめ	2 中学生に必要な栄養の特徴を知ろう	5 消費者を支える仕組みを知ろう	4
2 章 幼児の生活と家族	3 食品に含まれる栄養素を調べよう	2 章 消費者の権利と責任	6
1 幼児の体の発達を知ろう	4 1日に必要な食品の種類や概量を知ろう○	2 章 消費者の権利について考えよう	2
2 幼児の心の発達を知ろう	5 1日分の献立を考えよう○	1 消費者の権利について考えよう	2
3 幼児の生活習慣の身につけ方を知ろう	3 章 調理と食文化	2 消費者の責任について考えよう	2
4 幼児の生活の特徴を知ろう○	1 食品の選択と購入について考えよう	3 消費生活が社会に与える影響を考えよう○	6
5 幼児の遊びと発達のかかわりを知ろう	2 購入した食品を適切に保存しよう	4 環境に及ぼす影響を考えて行動しよう	6
6 幼児の発達を支える大人の役割を考えよう	3 調理の基礎を知ろう○	章末のまとめ	2
7 幼児とふれ合ってみよう○	4 肉を調理しよう○	暮らしの中のマーク・ラベル (消費生活・環境)	1
章末のまとめ	5 魚を調理しよう○		
	6 野菜を調理しよう○		
	・組み合わせてつくろう		
	・弁当をつくろう		
	・間食をつくろう		
	7 地域の食文化を知ろう		
	8 和食の調理をしてみよう○		
	章末のまとめ		
	4 章 私たちの衣生活		
	1 衣服の働きを知ろう		
	2 目的に合わせて自分らしく着よう○		
	3 衣服を計画的に活用できるようにしよう		
	4 自分に合った衣服を手に入れよう		
	5 衣服の手入れをしよう○		
			12

「別紙2-1」【(1)内容イ 調査項目の具体的な内容 教図】(中学校 技術・家庭 家庭分野)

○は、b 実践的・体験的な活動を取り上げている題材名

a 内容区分ごとの題材名・小題材名			
A 「家族・家庭生活」	ページ数	B 「衣食住の生活」	ページ数
		C 「消費生活・環境」	ページ数
		5章 生活を豊かにする製作 1 布を使ってつくってみよう 章末のまとめ	20
		6章 私たちの住生活 1 住まいの働きを知ろう 2 家族が暮らしやすい住まい方を考えよう○ 3 健康を守る室内環境の整え方を考えよう 4 家庭内事故から家族を守ろう 5 災害に備えた安全な住まい方を考えよう 章末のまとめ 世界の衣食住 暮らしの中のマーク・ラベル (食生活・衣生活・住生活・その他)	2 2 4 4 2 4 6 2 2 1

「別紙2-1」【(1)内容イ 調査項目の具体的な内容 開隆堂】(中学校 技術・家庭 家庭分野)

○は、b 実践的・体験的な活動を取り上げている題材名

a 内容区分ごとの題材名・小題材名			
A 「家族・家庭生活」	B 「衣食住の生活」	C 「消費生活・環境」	ベ シ 数
A 家族・家庭生活 わたしの興味・関心 1 自分の成長と家族・家庭生活 ①今の自分とこれまで ②わたしの生活と家族・家庭 ③家庭を支える社会 ④中学生にわたる家族 2 幼児の生活と家族 ①幼児のころと今の自分 ②幼児の体の発達 ③幼児の心の発達 ④発達にわたるおとなの役割 ⑤遊びが必要なわけ ⑥遊びを支える環境 3 幼児とのかかわり ①ふれ合い体験の前に ②ドキドキワクワクふれ合い体験○ ③ふれ合い体験は幼児からの贈り物 ④子どもの成長と地域 4 家庭生活と地域のかかわり ①家庭生活と地域での活動○ ②多様な人びとが暮らす地域○ ③地域に暮らす高齢者○ ④高齢者とのかかわり 5 持続可能な家庭生活 持続可能な家庭生活をめざして 学習のまとめ	B 衣食住の生活 わたしの興味・関心 1 食事の役割と食習慣 ①食事の役割 ②健康によい食習慣 2 中学生に必要な栄養を満たす食事 ①中学生の発達と必要な栄養 ②栄養素のはたらきと6つの基礎食品群 ③栄養バランスを目で見えて判断 3 ささまざまな食品とその選択 食品が食卓にのぼるまで ①生鮮食品の選択と保存 ②加工食品の選択 ③食品の安全と情報 4 日常食の調理 ①調理の計画 ②おいしさと調理○ ③ますます好きになる肉の調理○ ④こんなにおいしい魚の調理○ ⑤好きになる野菜の調理○ あと1品つくってみよう おやつやデザートをつくろう 5 地域の食文化 地域の食文化 6 献立づくり 1 日分の献立○ 7 持続可能な食生活 持続可能な食生活をめざして 学習のまとめ 食品成分表 わたしの興味・関心 1 目的に合った衣服の選択 ①衣服で伝わるメッセージ ②自分らしくコーディネート ③つなげよう和服の文化○ ④上手な衣服の選択	C 消費生活・環境 わたしの興味・関心 1 家庭生活と消費 ①消費生活のしくみ ②家庭生活における収入と支出 2 購入・支払いと生活情報 ①いろいろな購入方法 ②購入前に知っておくこと—売買契約— ③いろいろな支払い方法 ④情報を活用した上手な購入○ 暮らしの中のマーク 3 消費者被害と消費者の自立 ①なくならない消費者被害 中学生の消費者被害 ②消費者を支えるもの ③消費者の権利と責任 4 持続可能な社会 ①消費行動が社会に与える影響 ②消費行動が環境に与える影響 ③世界の国々と連帯した持続可能な生活の創造へ 学習のまとめ	2 2 2 6 2 12 2 2 2 2 4 2 2 6 8 8 6 2 2 6 6 3 1 4 2 2 2 4 4

「別紙2-1」【(1)内容イ 調査項目の具体的な内容 開隆堂】(中学校 技術・家庭 家庭分野)

○は、b 実践的・体験的な活動を取り上げている題材名

a 内容区分ごとの題材名・小題材名			
A 「家族・家庭生活」	B 「衣食住の生活」	C 「消費生活・環境」	ページ数
ページ数	ページ数	ページ数	ページ数
	<p>2 日常着の手入れと保管</p> <p>①まかせて衣服の手入れ○</p> <p>②布の繊維に応じた手入れ</p> <p>③めざそう洗濯名人</p> <p>④補修や収納・保管</p> <p>3 生活を豊かにするものの製作</p> <p>布による作品で生活を演出○</p> <p>製作の基礎・基本</p> <p>4 持続可能な衣生活</p> <p>持続可能な衣生活をめざして</p> <p>学習のまとめ</p> <p>わたしの興味・関心</p> <p>1 住まいのはたらきとこちよさ</p> <p>①住まいのはたらき</p> <p>②住まいの空間</p> <p>2 安全な住まいで安心な暮らし</p> <p>①家庭内事故への備え</p> <p>②災害への備え</p> <p>3 持続可能な住生活</p> <p>持続可能な住生活をめざして</p> <p>学習のまとめ</p>	<p>2</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>10</p> <p>6</p> <p>3</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>3</p> <p>1</p>	

「別紙2-2-2」【(1)内容イ 調査項目の具体的な内容 東書】(中学校 技術・家庭 家庭分野)

b 学習内容ごとの実践的・体験的な活動の内容		
1 調理に関する事項	2 被服に関する事項	3 幼児や高齢者との関わりに関する事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・具だくさんみそ汁</li> <li>・肉じゃが</li> <li>・青菜のごまあえ</li> <li>・野菜と春雨のスープ</li> <li>・とん汁</li> <li>・こまつなの変わり浸し</li> <li>・ラトウイユ</li> <li>・切干しだいこんの煮物</li> <li>・キャベツのレンジ蒸し</li> <li>・ハッシュポテト</li> <li>・野菜の焼き浸し</li> <li>・れんこんのきんぴら</li> <li>・青菜と卵のいためもの</li> <li>・ぶた肉のしょうが焼き</li> <li>・ポテトサラダ</li> <li>・キャベツと油揚げのみそ汁</li> <li>・ハンバーグ</li> <li>・ブロッコリーのツナマヨソース</li> <li>・コーンクリームスープ</li> <li>・ホワイチチュー</li> <li>・ぶた肉と野菜の重ね蒸し</li> <li>・蒸しどりのごまだれ</li> <li>・チキンソテー</li> <li>・スパゲッティミートソース</li> <li>・焼きようざ</li> <li>・さけのムニエル</li> <li>・蒸し野菜のサラダ</li> <li>・ミネストローネスープ</li> <li>・さばのみそ煮</li> <li>・きゅうりとわかめの酢の物</li> <li>・かきたま汁</li> <li>・いわしのかば焼き</li> <li>・魚の鍋照り焼き</li> <li>・さけのホイルちゃんちゃん焼き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイバッグ</li> <li>・ミニトートバッグ</li> <li>・ファイルカバ―</li> <li>・ブックカバ―</li> <li>・防災リュック</li> <li>・ハーフパンツ</li> <li>・簡単な小物を作ろう・ティッシュボックスカバ―</li> <li>・ポケットティッシュケース</li> <li>・フラスナーポーチ</li> <li>・エプロン</li> <li>・巾着袋</li> <li>・あずま袋</li> <li>・衣服のリフォーム・リメイク・ハーフパンツ</li> <li>・デニムバッグ</li> <li>・半袖シャツ</li> <li>・ティッシュボックスカバ―</li> <li>・エプロン</li> <li>・ペットボトルカバ―、衣服入れ</li> <li>・幼児の使う小物やおもちゃを作ろう・フェルト名札</li> <li>・指人形</li> <li>・カラフル魚</li> <li>・組み合わせ布絵本</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの視界体験・高齢者体験</li> <li>・幼児の施設へ行く～手作りおもちゃ遊び～</li> <li>・中学校へようこそ～学校探検ツアー～</li> <li>・高齢者との関わり方</li> </ul>

「別紙2-2」【(1)内容イ 調査項目の具体的な内容 東書】(中学校 技術・家庭 家庭分野)

b 学習内容ごとの実践的・体験的な活動の内容		
1 調理に関する事項	2 被服に関する事項	3 幼児や高齢者との関わりに関する事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚の煮付け</li> <li>・いわしのつみれ汁</li> <li>・切り身魚のトマト煮込み</li> <li>・ドライカレー</li> <li>・昆布とかつお節のソフトふりかけ</li> <li>・いっしょ煮込みのトマトペンネ</li> <li>・厚揚げの照り焼き</li> <li>・オープンオムレツ</li> <li>・ビビンバ風弁当</li> <li>・サンドイッチ弁当</li> <li>・いりどり(がめ煮・筑前煮)</li> <li>・ミニおにぎり</li> <li>・マカロニきな粉</li> <li>・ピザトースト</li> <li>・ミニお好み焼き</li> <li>・野菜の蒸しパン</li> <li>・フルーツ寒天</li> <li>・ステイック大学いも</li> </ul>		

「別紙2-2」【(1)内容イ 調査項目の具体的な内容 教図】(中学校 技術・家庭 家庭分野)

b 学習内容ごとの実践的・体験的な活動の内容		
<p>1 調理に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フルーツ寒天ゼリー</li> <li>・蒸しパン</li> <li>・さつまいものジュース煮</li> <li>・型抜きサンドイッチ</li> <li>・ロールサンドイッチ</li> <li>・ご飯で五平もち</li> <li>・ホットケーキ</li> <li>・ぶた肉のしょうが焼き</li> <li>・ハンバーグステーキ</li> <li>・肉じゃが</li> <li>・シウマイ</li> <li>・いわしのかば焼き</li> <li>・だいこんの甘酢あえ</li> <li>・小松菜のしょうゆあえ</li> <li>・煮魚</li> <li>・ムニエル</li> <li>・魚のホイル蒸し</li> <li>・とん汁</li> <li>・筑前煮</li> <li>・野菜ときのこのオーブン焼き</li> <li>・蒸し野菜サラダ</li> <li>・野菜サラダ</li> <li>・ポテトサラダ</li> <li>・にんじんグラッセ</li> <li>・切り干しだいこんのあえ物</li> <li>・粉ふきいも</li> <li>・わかめときゅうりの酢の物</li> <li>・ほうれん草のごまあえ</li> <li>・ひじきのいため煮</li> <li>・ミートソースパゲッティ</li> <li>・カレーライス</li> <li>・塩焼きそば</li> <li>・チャーハン</li> <li>・ピザトースト</li> </ul>	<p>2 被服に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あづま袋</li> <li>・ぞうきん</li> <li>・マスク</li> <li>・携帯用ボックスティッシュケース</li> <li>・きんちやく袋</li> <li>・布のボックス</li> <li>・私だけのオリジナルエプロン</li> </ul>	<p>3 幼児や高齢者との関わりに関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の一般的な身体の特徴を理解するために、疑似体験をしてみよう</li> <li>・保育所や幼稚園、認定こども園などでのふれ合い</li> <li>・中学校への招待</li> </ul>

「別紙2-2」【(1)内容イ 調査項目の具体的な内容 教図】(中学校 技術・家庭 家庭分野)

b 学習内容ごとの実践的・体験的な活動の内容		
1 調理に関する事項	2 被服に関する事項	3 幼児や高齢者との関わりに関する事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・かきたま汁</li> <li>・野菜スープ</li> <li>・ポトフ</li> <li>・ミネストローネ</li> <li>・コンソープ</li> <li>・わかめととうふのスープ</li> <li>・シウマイ弁当</li> <li>・ピーマンの塩こんぶあえ</li> <li>・さんびらごぼう</li> <li>・えのきのバターしょうゆ</li> <li>・塩焼きそば弁当</li> <li>・卵焼き</li> <li>・おにぎり</li> <li>・いなりずし</li> <li>・アスパラガスのベーコン巻き</li> <li>・じゃがいものお焼き</li> <li>・れんこんもち</li> <li>・みたらし団子</li> <li>・黍しパン</li> <li>・牛乳かん</li> </ul>		

「別紙2-2」(1)内容イ 調査項目の具体的な内容 開隆堂】(中学校 技術・家庭 家庭分野)

b 学習内容ごとの実践的・体験的な活動の内容		
<p>1 調理に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しょうが焼き</li> <li>・青菜のおひたし</li> <li>・たいこんのみそ汁</li> <li>・煮込みハンバーグ</li> <li>・せん切り野菜スープ</li> <li>・牛丼</li> <li>・シチュー</li> <li>・煮魚</li> <li>・ぎゅうりとわかめの酢のもの</li> <li>・えのきと油揚げのみそ汁</li> <li>・ムニエル</li> <li>・焼き魚</li> <li>・つみれ汁</li> <li>・かば焼き</li> <li>・蒸し野菜のサラダ</li> <li>・青菜の卵とじ</li> <li>・筑前煮</li> <li>・ミネストローネ</li> <li>・青菜のごまめえ</li> <li>・ポテトサラダ</li> <li>・大豆とひじきの煮もの</li> <li>・かぼちやの煮物</li> <li>・さつまいもとりんごの重ね煮</li> <li>・なすのみそいため</li> <li>・きのこのマリネ</li> <li>・切り干しだいこんの煮もの</li> <li>・ジャーマンポテト</li> <li>・なめこのみそ汁</li> <li>・かきたま汁</li> <li>・とん汁</li> <li>・コーンスープ</li> <li>・わかめスープ</li> <li>・きんぴらごぼう</li> <li>・ピーマンのナムル</li> <li>・カップケーキ</li> <li>・いももち</li> <li>・スイートポテト</li> <li>・牛乳かん</li> <li>・米粉蒸しパン</li> <li>・プリン</li> <li>・雑煮</li> <li>・手打ちうどん</li> <li>・青空の下で食べたい、わたしのお弁当</li> <li>・高齢者にもつくってあげたいお弁当</li> </ul>	<p>2 被服に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイルカバー</li> <li>・ブックカバー</li> <li>・診察カード入れ</li> <li>・非常持ち出し袋</li> <li>・道具入れ</li> <li>・ハーフパンツ</li> <li>・ごっこ遊び道具、マント</li> <li>・リストバンド・変身ベルト</li> <li>・リバーシブルバッグ</li> <li>・クッションカバー</li> </ul>	<p>3 幼児や高齢者との関わりに関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所や幼稚園に行ってみよう</li> <li>・幼児を学校に招待してみよう</li> <li>・子育て支援センターや子育てサークルに行ってみよう</li> <li>・高齢者の疑似体験や歩行介助の体験をしてみよう</li> </ul>

「別紙2-3」【(1)内容イ 調査項目の具体的な内容 東書】(中学校 技術・家庭 家庭分野)

<p>e 安全・衛生に関する内容を取り上げている箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習を楽しく安全に進めよう</li> <li>・手の洗いや</li> <li>・実習の衛生と安全</li> <li>・包丁、カスこんろを使う時の注意</li> <li>・蒸し器の安全な使い方</li> <li>・弁当作りのポイント</li> <li>・洗濯機のアース線の設置、安全な使用について</li> <li>・アイロンを扱うときの注意</li> <li>・はさみの受け渡し</li> <li>・ミシンを扱うときの注意</li> <li>・幼児の小物やおもちゃを作るときの配慮</li> <li>・幼児のおもちゃについて</li> <li>・幼児との触れ合いについて</li> <li>・幼児と触れ合う時の注意事項</li> </ul>	<p>f 持続可能な社会に関する内容を取り上げている単元</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な食生活を指して(P96-99)</li> <li>・持続可能な衣生活を指して(P154-155)</li> <li>・持続可能な住生活を指して(P178-179)</li> <li>・省エネルギーと持続可能な社会(P202-205)</li> <li>・持続可能な消費生活を指して(P206-207)</li> <li>・持続可能な社会を指して(巻末P5-6)</li> </ul>	<p>g 発展的な内容を取り上げている箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の民族衣装</li> <li>・世界のいろいろな住まい</li> <li>・フェアトレード</li> <li>・赤ちゃんと学校に</li> <li>・子育てをめぐる現状</li> <li>・子どもを守る条約や法律</li> <li>・ユニセフの活動</li> <li>・赤ちゃんと人間の育ちの始まり</li> <li>・ユニバーサルデザイン みんなが暮らしやすい社会を目指して</li> </ul>
---	---	---

「別紙2-3」【(1)内容イ 調査項目の具体的な内容 教図】(中学校 技術・家庭 家庭分野)

<p>e 安全・衛生に関する内容を取り上げている箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の疑似体験の注意</li> <li>・歩行の介助の注意点</li> <li>・食物アレルギーの子どもの配慮</li> <li>・幼児の遊び道具の選び方</li> <li>・幼児とのふれ合い実習の安全及び衛生に関する注意点</li> <li>・おもちゃ中毒の原因と予防法</li> <li>・包丁の扱い方</li> <li>・火加減の調節</li> <li>・火を扱うときの主な注意点</li> <li>・IH調理器を扱うときの主な注意点</li> <li>・後片付け</li> <li>・食中毒の予防 (ぶた肉のしよが焼き)</li> <li>・食中毒の予防 (ハンバーグステーキ)</li> <li>・食中毒の予防 (肉じゃが)</li> <li>・食中毒の予防 (シユウマイ)</li> <li>・食中毒の予防 (いわしのかば焼き)</li> <li>・食中毒の予防 (煮魚)</li> <li>・食中毒の予防 (ムニエル)</li> <li>・食中毒の予防 (魚のホイル蒸し)</li> <li>・食中毒の予防 (とん汁)</li> <li>・食中毒の予防 (筑前煮)</li> <li>・食中毒の予防 弁当をつくらう</li> <li>・電子レンジの注意点</li> <li>・おにぎり</li> <li>・アイロンかけ</li> <li>・製作の手順</li> <li>・製作中の注意点</li> <li>・載ちばさみの扱い方</li> <li>・ミシンの使い方</li> <li>・住まいの中で起こる事故</li> <li>・自然災害への備え</li> </ul>	<p>f 持続可能な社会に関する内容を取り上げている単元</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服を計画的に活用できるよにならう (P170 - 171)</li> <li>・私たちの消費者生活 (P238 - 239)</li> <li>・環境に及ぼす影響を考えて行動しよう (P274 - 277)</li> </ul>	<p>g 発展的な内容を取り上げている箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の大好きな、ごっこ遊びを見てみよう</li> <li>・子どものすこやかな成長のために</li> <li>・味と一緒に楽しもう - 地域の伝統的な器 -</li> <li>・マンガやアニメの主人公は、どのような住まいで暮らしているの？</li> <li>・世界の衣食住</li> <li>・おいしいチヨコレートの真実</li> <li>・事故が起こったのはどうしてだろうか？</li> </ul>
--	--	--

「別紙2-3」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 開隆堂】(中学校 技術・家庭 家庭分野)

e 安全・衛生に関する内容を取り上げている箇所	f 持続可能な社会に関する内容を取り上げている単元	g 発展的な内容を取り上げている箇所
<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分に換気を行う(実験)</li> <li>・調理の計画 調理作業の衛生と安全</li> <li>・包丁を使うときの注意</li> <li>・加熱するときの注意</li> <li>・蒸し器の使い方</li> <li>・調理の衛生と安全</li> <li>・衛生的な扱い</li> <li>・食品の扱い(しょうが焼き)</li> <li>・食品の扱い(煮込みハンバーグ)</li> <li>・食品の扱い(牛丼)</li> <li>・食品の扱い(シチュー)</li> <li>・衛生的な扱い</li> <li>・食品の扱い(煮魚)</li> <li>・食品の扱い(ムニエル)</li> <li>・食品の扱い(焼き魚)</li> <li>・食品の扱い(みそ汁)</li> <li>・食品の扱い(かば焼き)</li> <li>・食品の扱い(蒸し野菜のサラダ)</li> <li>・食品の扱い(青菜の卵とし)</li> <li>・食品の扱い(筑前煮)</li> <li>・食品の扱い(ミネストローネ)</li> <li>・電子レンジを使って</li> <li>・加熱する時の注意(牛乳かん)</li> <li>・加熱する時の注意(米粉蒸しパン)</li> <li>・弁当箱につめるときの注意</li> <li>・めざそう洗濯名人 アースの確認</li> <li>・針の安全</li> <li>・はさみの安全</li> <li>・ミシンを使うときの注意</li> <li>・家庭内事故への備え</li> <li>・災害への備え</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な家庭生活 (P64 - 65)</li> <li>・持続可能な食生活 (P152 - 153)</li> <li>・持続可能な衣生活 (P202 - 203)</li> <li>・持続可能な住生活 (P222 - 223)</li> <li>・持続可能な社会 (P256 - 263)</li> </ul>	<p>g 発展的な内容を取り上げている箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の発達と衣生活と食生活 乳幼児の場合</li> <li>・子どもの健やかな成長のために</li> <li>・世界で食べられている穀物やいもの例</li> <li>・進化する素材</li> <li>・ファストファッションの裏側で</li> <li>・ファストフードとフェアトレードタウン</li> <li>・力力オ農園で働くかされる子ども</li> <li>・紗奈ちゃんの乳児期から幼児期への成長</li> <li>・世界の食べ物・衣服・住まい</li> </ul>

発行者	「教材名」 【掲載方法】 記述の概要(掲載ページ)
東 書	<p>「防災リュック」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文・イラスト・写真】実習例 いざというときに役立つ防災リュックの製作(P146)</li> <li>・【家族の住まいを安全・安心に】</li> <li>・【コラム】東京スカイツリーの地震を外に逃がす構造(P173)</li> <li>「災害への対策」</li> <li>・【本文・写真】地域の災害と防災・減災、地震への備え(P174、175)</li> <li>・【コラム】常に一定量の食品や生活用品を家に備蓄しておく方法をローリングストック法という。(P175)</li> <li>「中高生が被災時にできたこと」</li> <li>・【コラム】福島県、宮城県の中高生が被災時に果たした役割、やってよかったことなどの記述。(P176)</li> <li>「避難所や仮設住宅での暮らしをよりよくする工夫」</li> <li>・【本文】地域の様々な人と関わり、困難な状況下でも暮らしをよりよくする工夫について。(P177)</li> <li>「地域のひととの防災訓練(宮城県仙台市)」</li> <li>・【写真】配膳(P179)</li> <li>「地域での協働を目指して」</li> <li>・【資料】「助けられる人」から「助ける人へ」ー地域のひととの関わり、ともに生きるー( P260)</li> <li>「防災・減災手帳」</li> <li>・【巻末付録】食生活、衣生活、住生活での備え、家庭・地域での備え、災害時の情報入手(巻末付録 P1-12)</li> <li>「持続可能な社会を目指して」</li> <li>・【巻末】SDGs(P5-6)</li> </ul>
教 図	<p>「中学生が地域を支える！」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【コラム】中学生の雪かき活動紹介(P26)</li> <li>「災害時の食生活を考えよう」</li> <li>・【コラム】災害時の調理例・非常食の紹介(P149)</li> <li>「衣服の手入れをしよう」</li> <li>・【資料】非常時の衣生活(P185)</li> <li>「災害と住まい」</li> <li>・【本文・イラスト・写真】自然災害の例・安全対策の必要性(P228-229)</li> <li>「自然災害への備え」</li> <li>・【本文・イラスト】自然災害への備えの具体例(P230-231)</li> </ul>
開隆堂	<p>「家庭生活と地域での活動」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【写真】避難所で救援物資の配布を行う子どもたち(熊本地震)(P57)</li> <li>「火災への備え」</li> <li>・【本文・イラスト・図】「自然災害と安全対策」「住まいの地震対策」(P218-219)</li> <li>・【本文・図】「火災に備えた暮らし」「避難はどこへ」(P220-221)</li> <li>・【コラム】避難所の生活について中学生にできることを考える(P221)</li> <li>「災害からのちと生活を守るために」</li> <li>・【本文・図】自然災害における様々な被害、被災したら生活はどうなる？ 災害の備えのある生活スタイルを身に付けよう(P292)</li> </ul>

発行者	「教材名」 【掲載方法】 記述の概要(掲載ページ)
東 書	<p>「持続可能な食生活を目指して」【本文】                      ・食品の安全、食料自給率、食品の廃棄、食品の輸入とエネルギーに関する内容が記載されている。(P 96 - 99)                      「持続可能な衣生活を目指して」【本文】                      ・資源や環境と衣服、資源や環境に配慮した衣生活の工夫に関する内容が記載されている。(P 154 - 155)                      「持続可能な住生活を目指して」【本文】                      ・持続可能な社会と私たちの住生活に関する内容が記載されている。(P 178 - 179)                      「省エネルギーと持続可能な社会」【本文】                      ・私たちの生活とエネルギー消費、資源の消費と廃棄物、持続可能な社会に関する内容が記載されている。(P 202 - 205)                      「持続可能な消費生活を目指して」【本文】                      ・持続可能な社会の実現、エシカル消費と消費者市民社会に関する内容が記載されている。(P 206 - 207)                      「持続可能な社会を目指して」【本文】                      ・SDGsについて記載されている。(巻末P 5 - 6)</p>
教 図	<p>「衣服を計画的に活用できるようにしよう」【本文】                      ・衣服の計画的な活用に関する内容が記載されている。(P 170 - 171)                      「私たちの消費者生活」【本文】                      ・SDGsに関する内容が記載されている。(P 238 - 239)                      「環境に及ぼす影響を考えて行動しよう」【本文】                      ・地球温暖化と消費者に関する内容が記載されている。(P 274 - 277)</p>
開隆堂	<p>「持続可能な家庭生活」【本文】                      ・SDGs、ワーク・ライフバランス、だれもが尊重される社会に関する内容が記載がされている。(P 64 - 65)                      「持続可能な食生活」【本文】                      ・食品ロス、食料自給率に関する内容が記載されている。(P 152 - 153)                      「持続可能な衣生活」【本文】                      ・省エネの衣生活、環境に配慮した洗濯、古着の廃棄に関する内容が記載されている。(P 202 - 203)                      「持続可能な住生活」【本文】                      ・資源や再生可能エネルギー、ノーマライゼーションに関する内容が記載されている。(P 222 - 223)                      「持続可能な社会」【本文】                      ・消費行動、よりよい社会・環境を目指す消費者市民に関する内容が記載されている。(P 256 - 263)</p>

男女共同参画社会につながる内容のものを取り上げる

発行者	「教材名」 【掲載方法】 記述の概要(掲載ページ)
<p>東 書</p>	<p>○男女共同参画社会に関する内容                      ・「男女共同参画社会基本法」                      【本文】                      この法律は、社会のあらゆる分野の活動に男女が対等に関わっていくことを目指しています。家庭においては、男女が対等なパートナーとして子育てや介護に関わることが大切です。また、社会的な労働の場においては、性別にとらわれずに個性と能力に応じて力を発揮できる環境づくりが求められています。(P283)                      ○家族に関する内容                      ・5編 私たちの成長と家族・地域                      1章 家族・家庭と地域                      ①私たちの生活と家族・家庭の機能 (P214)                      ・私たちの生活を支える家族・家庭の基本的な機能 (P214)                      ・家族・家庭の多様性と基本的な機能 (P215)                      ②中学生としての自立 (P216)                      ・中学生となって (P216)                      ・家庭の仕事と自立 (P217)</p>
<p>教 図</p>	<p>○男女共同参画社会に関する内容                      「家族の一員として」                      【本文】日本では、家庭の仕事の多くをおこなう女性が行っています。(P17)                      【資料】「男女共同参画社会を目指して」                      ・男女共同参画社会とは？                      「男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会」を言います。現在、男女共同参画社会が実現できているといえるでしょうか？(P17)                      ・どうして男女で違いが出るの？                      育児または家族の介護を行う人の、職業生活と家庭生活との両立を支援する法律として、育児・介護休業法があります。育児休業・介護休業は、男女どちらでも取ることができですが、取得率は男女で大きな差があります。また、家庭の仕事にかかる時間についての調査でも、男女で大きな差が出ています。(P17)                      ○家族に関する内容                      ・A編 家族・家庭生活                      1章 家族・家庭や地域のかかわり (P12 - 19)                      1 家族の一員としてできることを考えよう                      ・家族・家庭の基本的な働き                      ・家庭生活と家庭の仕事                      ・家族の一員として                      2 家族関係をよりよくする方法を考えよう                      ・家族の立場や役割の理解                      ・家族のかかわりとコミュニケーション</p>
<p>開隆堂</p>	<p>○男女共同参画社会に関する内容                      「家庭の機能を支える仕事」(P19) 【本文】                      ・家庭にはさまざまな仕事があります。-その仕事は、長い間女性が中心となっていたが、現在は家族の一人ひとりがかかわるようになっている。現在、男女共同参画社会が実現できています。                      ○男女共同参画社会基本法 (P21)                      ・A 家族・家庭生活                      1 自分の成長と周囲の人びと                      ①今の自分とこれまで                      ・自分の成長と周囲の人びと                      ・中学生の自分                      ②わたしの生活と家族・家庭                      ・家族・家庭の機能                      ・家庭の機能を支える仕事                      ・家庭の機能の安定に向けて</p>

発行者	「教材名」 【掲載方法】 記述の概要(掲載ページ)
東 書	<p>「どうして衣服を着るのだろう」            【写真】(P108)            取り上げている項目：制服を着る理由            記述の概要：オリンピック・パラリンピックの選手も制服を着ているね。</p>
教 図	<p>「衣服の動きを知ろう」            【コラム】東京五輪に向け、東京都が作成した観光ボランティアのユニフォーム (P165)            取り上げている項目：衣服の動き 考えてみよう            記述の概要：衣服の社会生活上の働きについて、思い浮かぶことを、できるだけたくさんあげてみよう。</p>
開隆堂	<p>「先輩からのエール」            【コラム】栄養と食事でスポーツ選手をサポート (P154)            取り上げている項目：先輩からのエール 管理栄養士            記述の概要：スポーツ選手に食事のメニューを提供したり、アドバイスをしたりして、体を強くしたり、パフォーマンスを向上させるサポートをしている。オリンピック選手にも合宿などで食事を提供している。</p>

「別紙3」【(2)構成上の工夫】(中学校 技術・家庭 家庭分野)

発行者	生徒の学習意欲を高めるための工夫	実習を分かりやすく示すための工夫	職業観・勤労観に関連する内容の取り上げ方の工夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	デジタルコンテンツの扱い	ユニバーサルデザインの特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容の始めに、小学校家庭科における学習内容とともにこれから学習する内容、生活の営みや関係する見方、考え方がイラストや写真で示されている。</li> <li>ページの下部に「せいかつメモ」があり、より学習内容が深められるようにしている。</li> <li>巻末付録に「幼児の視界体験眼鏡」があり、組み立てると幼児の視界を体験できる。</li> <li>巻末付録に「防災・減災手帳」が活用されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理の手順が見開きのページに大きな写真とともに掲載されており、視覚的に分かりやすい流れとなっている。</li> <li>「私のオリジナル」と題して、製作した作品の応用例が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「プロに聞く！」というコーナーがあり、家庭分野の学習に関連した仕事に就く方からの学習への深めるアドバイスや中学生へのメッセージが掲載されている。</li> <li>クイズ、消費生活アドバイザー、カラーコーディネーター、染色職人等が記載されている。</li> <li>「学んだことを生活に生かす」というページに、「プロに聞く！」に掲載された16名が内容別に一言でき、学習と社会とのつながりを意識できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「どうして食事をやるのだろう」という課題発問から、計画、実践、評価、改善、次の課題へとつながりながら学ぶことのできる工夫がなされている。</li> <li>「領域の終わりに振り返りができて学びを深められる。」</li> <li>「学んだ知識を生活に生かす」というように写真が多く掲載され、各領域で実習のページを充実させている。</li> <li>「話し合ってみよう」、「活動しよう」、「やってみよう」等の実践的な課題が多く示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次元コードに対応した端末で読みとると、教科書の内容に關係するコンテンツを参照することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインフォントを採用している。</li> <li>食品の押さえ方は、右利きと左利きの写真が掲載されている。</li> <li>等が示されている。</li> </ul>
教 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容を理解しやすいように、写真やイラストを多く掲載している。</li> <li>説明等も視覚的に見やすく工夫されている。</li> <li>課題解決の視点の枠が多くなり、自分の生活と絡めて学習を進めていくことができるようになっている。</li> <li>付録には、献立を作成する際に活用できる料理のシールが付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決の視点を盛り込み、多くの実習課題が掲載されている。</li> <li>製作手順が写真とともに丁寧に示されている。</li> <li>安全面や衛生面について、留意点が具体的に示されている。</li> <li>実習のポイントや失敗例について記載されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各領域の導入で、自立度チェックができるようになっている。</li> <li>各分野の最後の「メッセージ」では、家族や中学生の生き方・考え方を伝えることができる。</li> <li>「センパイに聞こう」では、調理師、保育所栄養士、呉服店員など、学習に関連する大人からのメッセージが記載されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「考えてみよう」、「話し合ってみよう」などのコラムで、生徒が主体的・対話的に知識や技術を身に付けられるワークが掲載されている。</li> <li>そこで身に付けた知識を工夫しながら課題に取り組むことができる。</li> <li>課題解決学習の流れに沿って課題の例を示し、生徒が自分の課題を設定できるように工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次元コードに対応した端末で読みとると、教科書の内容に關係するコンテンツを参照することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルフォントを採用し、ルビが大きく読みやすく工夫されている。</li> <li>カラーユニバーサルデザインに配慮されている。</li> <li>食品の押さえ方は、右利きと左利きの写真が掲載されている。</li> <li>等が示されている。</li> </ul>
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>各ページの下部に「豆知識」が記載されており、学習内容への興味・関心や、意欲を高めるような工夫がされている。</li> <li>関連する教科のマークがあり、教科横断的に学べるようになっていく。</li> <li>巻末「災害から『いのちと生活』を守るために」では、日本の災害の歴史や当時の様子が掲載されている。</li> <li>災害が起きた時の行動がチャートになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理の手順が経過時間とともに大きく示されている。</li> <li>布による製作では、布の大きさと縫いしろが図で示されている。</li> <li>実習のページには「調理方法Q&amp;A」があり、他の料理にも活用できる調理方法の調理理論を知ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先輩からの「エール」には、育児休暇取得者やパティシエ、紙の建築家、絵本作家などへのインタビュー形式で仕事内容やその職業に就いたきっかけなどが記載されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「話し合ってみよう」、「やってみよう」、「考えてみよう」では、話し合う目的や実習内容が明確で、主体的・対話的で深い学びにつながるよう工夫されている。</li> <li>「生活にいかそう」では、学習のまとめに、実生活に即して、学習を総合する課題が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次元コードに対応した端末で読みとると、教科書の内容に關係するコンテンツを参照することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カラーユニバーサルデザインの観点からデザイン上の配慮をしている。</li> <li>食品の押さえ方は、右利きと左利きの写真が掲載されている。</li> <li>等が示されている。</li> </ul>